

注意 (1) すべての問題・解答用紙に受験番号を明記すること。

(2) 試験時間内の退室はできない。

I. 以下は、原因帰属に関わる文章である。() 内に入る最も適当な語句を解答欄に記入しなさい。【2点×5】

私たちが他者の行動の原因を帰属する際に、他者の行動の原因を状況要因よりも過度に内的要因に帰属する(1) とよばれる認知バイアスを抱く傾向がある。また、自分自身の成功は内的要因に、失敗は外的要因に帰属する(2) とよばれる傾向も持っている。

ケリーの共変原理は、帰属理論の主要なモデルの一つである。このモデルによると、私たちは、ある行動の原因を特定する際に、その行動が他の状況でも起こるかに関わる(3)、その行動が時間や状況を超えても起こるかに関わる(4)、他の人も同じように行動するかに関わる(5) という3つの情報に基づいて原因を推論する。

I. 解答欄

1		2		3		4	
5							

II. 次の記述の() に当てはまる最も適当な語句もしくは人名を解答欄に記入しなさい。【2点×10】

- () は、知能の二因子説を提唱した。
- 隼人さんは、自分が所属する空手部は、他の部より優れていると評価している。この傾向は、() とよばれる。
- 間脳に位置し、体温や摂食行動などの調整に関わる部位は() である。
- 桜さんは、乳児の視線に着目する() 法を用いて、乳児に数種類の視覚パターンを提示し、注視時間の長さを調べた。
- 内受容感覚からの入力に基づき快―不快、および覚醒―鎮静の二次元で経験される基礎的感情状態は() とよばれる。
- 主に脳幹の青斑核から投射され、覚醒や注意に関わるモノアミン系神経伝達物質は() である。
- まるちゃんは、「日本の首都は東京である」ことを覚えた。この記憶は、宣言的記憶のなかの() 記憶とよばれる。
- ヴィゴツキーは、子どもが一人ではできないことであっても、他者の助けやサポートによりできる可能性のある領域を() とよんだ。

9. 学習者の適性と教授法や教材などの学習条件との組み合わせにより、学習成果が変わることは（ ）とよばれる。
10. 紘一さんは、試験の時の気分と試験勉強の時の気分が同じようなものになるよう気を付けている。これは、試験勉強時の学習内容を、本番の試験で良く思い出すことができるように、（ ）効果をねらっているためだ。

II. 解答欄

1		2		3		4	
5		6		7		8	
9		10					

Ⅲ. 以下の問いに答えなさい。【2点×5】

- 以下のデータはある心理学の研究における参加者の不安スコアである。このデータセットの中央値と最頻値をそれぞれ求めなさい。
データセット: 10, 12, 15, 16, 18, 20, 22, 25, 25, 30
- 次のデータをもとに X と Y の相関係数を求めなさい。
 $X: \{1, 2, 3\}$, $Y: \{2, 4, 3\}$.
- ある介入研究で、実際には効果がないにもかかわらず、介入効果があると結論付けた。このエラーは何とよばれるか答えなさい。
- 心理学のモデルにおいて、ある変数が他の2つの変数の関係の強さや方向を変化させる場合、その「ある変数」は何とよばれるかを答えなさい。
- 心理学の研究で、重回帰分析を行った結果、モデル全体の決定係数 (R^2) が 0.45 であった。この値から、説明できることを述べなさい。

III. 解答欄

1	中央値： 最頻値：	2		3		4	
5							

2026年度 (秋期)

受験番号

大学院 人間科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程 入学試験問題・解答用紙

専門科目「臨床心理学」 3 / 7

- IV. 「教授法 A」が英語の長文読解の成績に与える影響を検討する研究において、調べる変数と実験の進め方について述べなさい。 【10点】

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

I ~ IV
採点欄

V. 次の問いに答えなさい。

精神分析理論を児童の臨床に適用することは、S・フロイト以降、多様な発展を遂げてきた。特に【 a. 】は、自我心理学の立場から、児童の自我の成熟度を踏まえた治療的アプローチの重要性を提唱し、【 b. 】という独自の臨床領域を確立した。彼女は、子どもに対して中立的な解釈を行うべきではないと考え、むしろ支持的なかかわりによって自我機能の強化を図ることを重視した。

一方で、【 c. 】は、解釈を通じて子どもの無意識的葛藤を直接取り扱うことの意義を主張し、特に乳児期における原初的な対象への空想と不安の構造を分析した。彼女は、「抑うつ」および「妄想-分裂」といった防衛を中心とした二つの【 ① 】を通して、乳児の心的発達を捉えようとした。

このような乳幼児の対人関係に焦点を当てた精神分析的展開は、【 ② 】と総称され、心的装置における欲動の働きよりも、重要な他者との関係性における内的【 ③ 】の形成を重視するという点で画期的であった。

さらに発達理論においては、【 d. 】が提唱した「分離-【 e. 】」の枠組みが広く受容されている。これは乳児が母親との一体性から脱し、能動的な【 ④ 】と再接近期を経て個としての自己を確立していく過程であり、後の愛着理論や自己心理学にも多大な影響を与えた。

こうした発達理論や精神分析的知見は、子どもの臨床的支援において重要な意味を持つ。たとえば、【 f. 】は、C・ロジャーズのパーソンセンタードアプローチを基盤に、子どもの自由な自己表現と治癒力に信頼をおいた非指示的【 g. 】を理論化した。子どもがこの過程で見せる多様な表現には、内的経験を外在化し、他者と共有する機能が含まれており、その背景には【 h. 】機能の発達が重要となる。

1. 【 a. 】から【 h. 】に入る語句を下記から選んで番号を書きなさい。【2点×8】

- ①M・クライン ②遊戯療法 ③D・カルフ ④箱庭療法 ⑤児童精神分析
⑥M・マラー ⑦象徴 ⑧抽象 ⑨A・フロイト ⑩個体化 ⑪V・アクスライン

1. 解答欄

a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.	h.

2. ①から④に入る用語を解答欄に書きなさい。【3点×4】

2. 解答欄

①	②	③	④

VI. 次の問いに答えなさい。

ある製造業の企業A社（従業員数約1,500名）では、これまでメンタルヘルス対策に特に力を入れてこなかったが、近年、職場内のパワーハラスメントに関連する退職案件が複数発生し、背景には慢性的な長時間労働と管理職による指導の硬直化があるとされていた。A社では、社内に健康管理スタッフ（産業医・看護師）は配置されているが、心理職は不在である。今後、心理的支援の体制整備を進めるにあたり、社内心理職を採用するか、外部EAP（Employee Assistance Program）と契約するかで検討が進んでいる。

1. 次の事例のうち、厚生労働省の定義に基づいてパワーハラスメントに「該当しない」可能性が最も高いものを1つ選びなさい。【2点】

- ①上司が、業務上のミスに対して繰り返し叱責した。
- ②部下の遅刻や業務報告の不備が続いていたため、上司は毎日1時間の個別面談を行い、業務遂行態度に対する注意と改善の必要性を指摘した。
- ③昼休憩や終業後にプライベートな話題（恋愛や家族）への言及を執拗に続けた。
- ④管理職が、業務上の必要性は少ないものの職場の雰囲気を変えるために部下に対して突然の配置転換を行った。
- ⑤上司は、業務の遂行に難があると判断した部下に対し、単純作業を長期間割り当て、会議への参加も見送るようにした。
- ⑥この中に正答はない。

1. 解答欄

受験番号

專門科目「臨床心理学」 6/7

2. 社内の健康管理部門に心理職を配置する場合と、外部 EAP と契約する場合とは、それぞれ異なる特徴があり、導入効果にも違いが見られる。この 2 つの体制について、両者の主な相違点および導入効果の違いについて 200 字以内で述べなさい。【10 点】

2. 解答欄（横書き）

A full-page sheet of white graph paper with a light gray grid. The grid consists of small squares, approximately 10 units wide by 10 units high. There are no margins or additional markings on the page.

3. A社では、ラインによるケアの充実が求められている。そのために、A社はどのような対策を行うとよいか、社内心理職の立場から200字以内で具体的に提案しなさい。なお、ハラスメント予防、部下のメンタル不調の早期発見、信頼関係の構築などに留意すること。【10点】

3. 解答欄（横書き）

V～VI
採点欄

合計点